

インテック、EDI サービスの「AnserDATAPORT®接続オプション」に、 外国送金の ISO20022 対応通信機能を追加

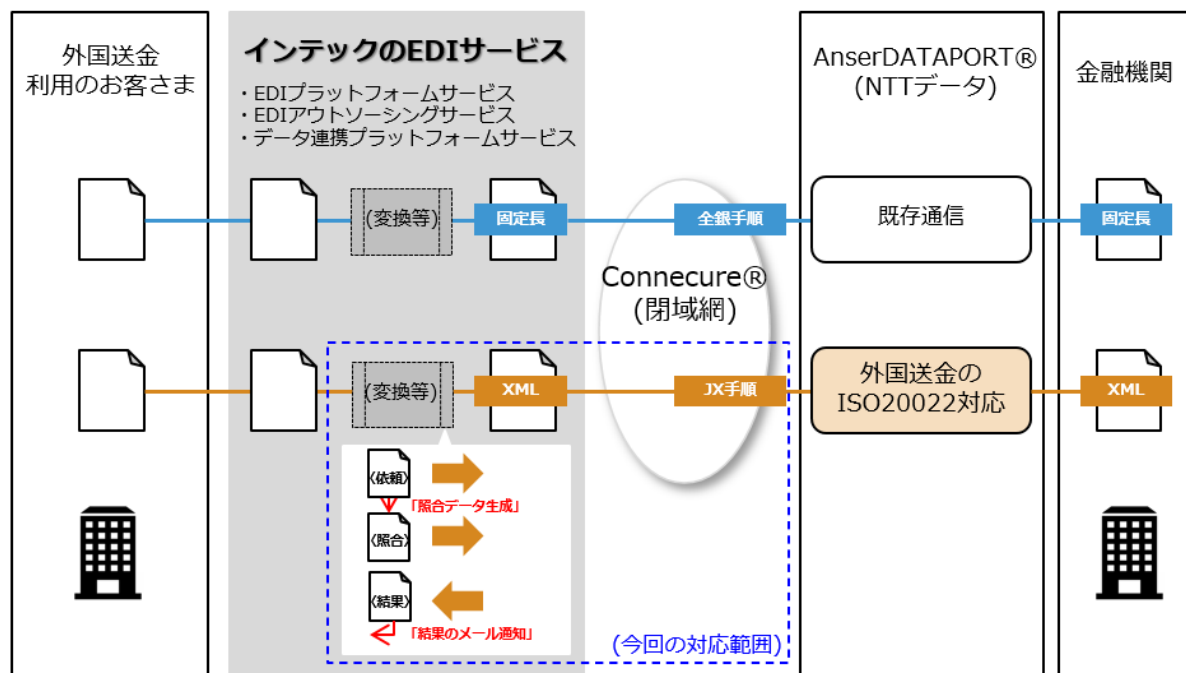
TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：疋田秀三、以下インテック）は、EDI サービス※1 に付属する「AnserDATAPORT®接続オプション」について、2024 年 10 月から外国送金の ISO20022 対応通信機能を追加したことを発表します。

「AnserDATAPORT®」は、株式会社 NTT データ（以下 NTT データ）が提供する金融機関向けデータ伝送サービスです。NTT データの「AnserDATAPORT®」外国送金の ISO20022 対応についての詳細は、NTT データのホームページをご参照ください。

<https://www.adp.ne.jp/ISO20022.html>

※1 インテックが提供する「EDI プラットフォームサービス」、「EDI アウトソーシングサービス」、「データ連携プラットフォームサービス」のこと。

■概要（イメージ図）



※「AnserDATAPORT®接続オプション」のご利用には、別途インテックのEDIサービスの契約（初期加入料金ならびに設定料金など）が必要です。

■背景

ISO20022 は金融通信メッセージフォーマットの国際標準規格で、拡張性の高い XML フォーマットを採用しています。SWIFT（国際銀行間金融通信協会）は、国際的なアンチマネーロンダリン

グの規制強化、送金処理の迅速化など、外国送金の課題に対応するため、2023 年 3 月から 2025 年 11 月にかけて、外国送金に使用する電文を ISO20022 に順次移行することを発表しました。その結果、2025 年 11 月以降の外国送金については、全て ISO20022 での伝送に切り替わるようになりました。

これに際し、NTT データの「AnserDATAPORT®」も外国送金の ISO20022 対応を実施することを発表しており、インテックは従来の通信に加え、ISO20022 フォーマット (XML) および JX 手順での通信に対応します。また今後は、システム対応負担を軽減する目的で、送金意思確認を FAX などの代わりに利用する「照合データ」をインテックの EDI サービスで生成する機能や、金融機関の処理結果を確認する「結果データ」の内容をメールで通知する機能の提供を実施する予定です。

■「AnserDATAPORT®接続オプション」の外国送金 ISO20022 対応のメリット

1. 安価かつ短期間での利用開始が可能

「AnserDATAPORT®接続オプション」は、敷設済みの Connecure 回線を使用するため、自社で回線を用意するよりも安価かつ短期間での利用開始が可能。

2. 従来の環境から外国送金が可能

従来の通信（固定長・全銀手順）に加え、外国送金（XML・JX 手順）通信も同じ環境から追加費用なく利用することが可能。

3. システム対応負担の軽減（予定）

外国送金利用者の指定フォーマットから ISO20022 フォーマット (XML) への変換や、新たに「照合データの自動生成機能」、「結果データのメール連携機能」などの追加を計画しており、システム対応負担の軽減を実現。

■「AnserDATAPORT®接続オプション」提供料金

初期料金：不要

月次料金：100,000 円（税抜）

※DR（Disaster Recovery：災害復旧）オプション利用の場合 150,000 円（税抜）

「フォーマット変換」、「照合データの自動生成機能」、「結果データのメール連携機能」などの付加機能については、提供可能時期と合わせて個別の相談を受け付けます。

■オンラインセミナーの開催

インテックは、外国送金の ISO20022 移行の概要と EDI に必要となる対応について、外国送金業務を行う企業向けの無料オンラインセミナーを開催します。

「もう待てない！外国送金 ISO20022 対応と EDI 基盤の真の BCP 対策とは～期限迫るサプライチェーン DX の課題を徹底解説～」

1. 開催日時：2024 年 10 月 10 日（木）13:00 ～ 10 月 31 日（金）17:00（予定）
2. 場所：YouTube オンデマンド配信
3. 参加費：無料

詳細・申し込みは以下をご参照ください。

<https://www.intec.co.jp/event/event1862.html>

■インテックの EDI サービスについて

インテックの約 40 年にわたる EDI システムの構築・運用ノウハウを集結したアウトソーシングサービスで、導入から開発、運用までワンストップで、企業間で発生する受発注、出荷、返品、請求、支払いなどのデータ交換を提供します。従来の EDI サービス機能に加えて、マルチサイトでの並列・分散処理をインテック独自技術により実現し、社会インフラとして災害や障害に強く、安心して利用できる“止まらない EDI サービス”を提供します。

詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.intec.co.jp/service/detail/ediplatform/>

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964 年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループは、国内外グループ 2 万人を超える社員が『IT で、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摂」「都市集中・地方衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心としたさまざまな社会課題の解決に向けて IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣
E-Mail : press@intec.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック 情報流通プラットフォームサービス事業本部 営業部 竹内
E-Mail : edi_info@intec.co.jp